

**ITU-R SG8 WP8A会合」が開催される
－移動通信技術セミナーの開催－**

IMT-2000 を除く、全ての陸上移動業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を扱っている ITU-R SG8 WP8A(Working Party 8A) の第 14 回会合が、昨年(2007年)の 11 月 24 日から 12 月 12 日の 8 日間、スイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。本会合には 25 カ国の主官庁、7 つの国際機関及び参加が認められた企業等から 81 名が参加した。日本からは総務省・電波部移動通信課・田邊技官を始め 9 名が出席した。

議長は S. Towaji 氏 (カナダ) が担当し、Working Party の下に 6 つの Working Group を設置し、表 1 に示す審議体制で審議を行った。86 件の寄与文書について審議を行い、新勧告案 1 件、暫定新勧告案 2 件、暫定新勧告改定案 1 件、研究課題改定案 1 件、作業文書 8 件、報告書 6 件、リエゾン文書 23 件、その他 2 件の合計 44 件の出力文書 (TEMP Doc.) を作成した。移動通信用新技术に関する課題を審議する WG 5 では、NTT ドコモの吉野仁氏が議長を務め、アダプティブアンテナに関する報告書と新勧告案の作成を始め、ソフトウェア無線 (SDR) などの議事進行と会議を取りまとめた。



移動通信関連の新技术とサービスに関するセミナー風景

前会合から、現行セルラーから IMT-2000 への展開促進などの議題に対応する WG6 により、最近のデジタル・サービスに対応したセルラー方式の暫定新勧告案を作成し、次会合での承認を目指すなど活発な審議が行われた。さらに JRG 8A- 9 B 活動の終了に伴って、次回会合から新たに無線 LAN を取り込んだ、WG 7 が新設されることになった。

一方、議長の S. Towaji 氏 (カナダ) が今会合を最後に、議長を退くことになり、議長の功績を称え、引退セレモニーが行われた。

また、会議が終了した 12 月 3 日に、WP8A 主催による移動通信関連の新技术とサービスに関するセミナーが開催され、100 以上の参加者が参加して、熱心な討議が行われた。主な発表内容は① PPDR(公共保安及び災害救援) の国際的な活動、② (SDR) ソフトウェア無線、③ RLAN,HAPS 等の陸上移動通信システムや応用事例、④ ITS、アダプティブアンテナ等の新技术であった。

Group	担務内容	議長
WP8A	ITU-R SG8 WP8A 全体	Sabh Towaji (カナダ)
WG1	【アマチュア業務】	Paul Rinaldo (米国)
WG2	【ITS(高度道路交通システム)】	Paul Najarian (米国)
WG3	【PPDR(公共保安及び災害救援)】 開発途上国における災害通信、低コストのPPDR 通信機器の課題、等	Alan Jamieson (ニュージーラ ンド)
WG4	【干渉保護条件及び共用研究】 陸上移動通信業務の干渉保護のための基準課題、 等	Douglas Bush (英国)
WG5	【新技術及びサービス】 アダプティブアンテナ、ソフトウェア無線、等	吉野 仁(日本)
WG 6	【セルラー (Pre-IMT-2000) システム】 2G 等から 3G への展開促進のための課題、等	Thomas Wasilewski (米国)

なお、本件に関する詳細は、以下の連絡先よりご確認ください。

連絡先：総務省・総合通信基盤局電波部移動通信課
担当：水落システム開発係長、田邊技官
電話：(直通)03-5253-5894

世界情報社会サミット (WSIS) の結果

情報通信関連では初めての国連サミットである、世界情報社会サミット (World Summit on the Information Society) は、昨年12月10日から12日まで、スイスのジュネーブにおいて、176か国から54人の首脳と83人の情報通信大臣等が参加して開催されました。サミットは、今後の情報社会を構築していく上での基本理念・指針となる基本宣言及び行動計画を採択し閉会しました。

我が国からは麻生総務大臣が出席し、サミット本会合においてステートメントを行った他、政府・民間で協力してサミットイベントに参加いたしました。また、この機会に、麻生総務大臣は、英国、中国、韓国、スイスの各国大臣と個別に会談したほか、ASEAN諸国の情報通信担当大臣等と一堂に会し、ブロードバンドの重要性の認識などについて意見が一致しました。

なお、詳細については、http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/031215_4.html を参照して下さい。

「戦略的情報通信研究開発推進制度」における 平成16年度研究開発課題の募集について

総務省では、平成16年度における戦略的情報通信研究開発推進制度 (Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme : SCOPE) に係る研究開発課題の募集を下記のとおり行います。

本制度は、情報通信技術の研究開発力の向上及び競争的な研究開発環境の形成により、研究者のレベルアップ及び世界をリードする知的財産の創出を図るとともに、独創性・新規性に富む研究開発を推進することを目的とした公募研究制度であり、

以下の3つの戦略的な重点目標が設定されています。

- 1) 特定領域重点型研究開発
- 2) 研究主体育成型研究開発
- 3) 国際技術獲得型研究開発

このうち、無線通信関連のテーマについては、「1) 特定領域重点型研究開発」に分類されています。

また、平成16年度募集分から各重点目標の中の領域が見直され、従来の「周波数資源開発」が「無線技術」となり、重点的に募集する課題についても、周波数資源開発に資する技術だけでなく、以下のように範囲が拡大されています。

- ・ 新世代モバイルネットワーク技術
- ・ 未利用周波数帯開発のための技術および電波有効利用技術
- ・ 広帯域無線通信技術
- ・ ソフトウェア無線技術等

研究課題の募集期間は、平成16年1月23日～平成16年2月23日となっております。本制度の詳細及び提案要領については、総務省ホームページ (http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/031219_4.html) をご覧ください。

欧州電気 通信の動 き

仏固定電話市場、縮小続く
【Les Echos, 2003/12/02】

ART（仏電気通信規制機関）の発表によると、仏の第2四半期の電話市場は、固定電話の収入が前年同期比で3.2%減の33億8600万ユーロ、通話時間が3.9%減の270億分になった。これに対し、携帯電話の収入は13%増の32億1900万ユーロ、通話時間は22.3%増の154億分で、収入は固定電話と同じレベルに達した。

一方、事業者事前登録制度（いわゆるマイライン制度）でフランス・テレコム以外の新電電を選択する加入者数は420万人に上ったが、解約者も増えたことから、加入者数は9%減少した。また、携帯電話加入者の一人当たり収入は8%増の27.4ユーロ/月を記録、その平均通話時間は17%増の131分となった。一方、ショートメッセージサービス（SMS）の収入は前期比で4%減の2億1700万ユーロ、加入者一人当たりの本数は1.7%減の16.7本/月となった。

編集後 記

年末のクリスマスウィークから、年明けの正月にかけて、この季節の街中ではきらびやかなイルミネーションが目に入りました。最近では住宅街でも、イルミネーションを飾る家庭が増えてきたようですが、北の札幌では1.5Kmの大クリスマス・イルミネーションが華やかで、ギネスに申請したとかで、随分話題を呼んでいましたね。昨年見た中では、東京丸の内ですら元旦の朝まで開催された、「東京ミレナリオ」のイルミネーションが最高でした。特に今回は、江戸開府400年にちなんで、江戸切子をモチーフとし、わざわざイタリアから輸入した電飾を使っていたそうで、とても綺麗で神秘的な感じでした。確かに、色鮮やかな電飾が目に入ると、何か暖かな気持ちになりますよね。

ところで、世界で初めてイルミネーションが街に灯されたのは、今から121年前の1882年だそうです。1879年に白熱電球の実用化に成功した発明王エジソンが、3

年後の 年に、1万 個の電球のイルミネーションで、マンハッタンのビルを飾るという派手なデモンストレーションを行ったそうです。主役であるイルミネーションの電球が、エジソンによって初めて作られたこと、ご存知でしたか。

さて ARIB では、燭台にイメージされた電飾で彩られた東京タワーが、窓から目に映り、忙しい日頃の忙しさをしばしば忘れさせてくれています。

(編集子：SUM)